

令和7年度

事業計画書

特定非営利活動法人ICTリハビリテーション研究会

1 事業実施の方針

設立初年度にあたり、事業の基盤を確立し、この法人の役員を通じた呼びかけにより利用者へのPRに注力するとともに、会員増強に努める。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

（事業費の総費用【 3,320 】千円）

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
ICTとリハビリテーション・医療福祉に関するイベント、研修会及び情報提供事業	ICT とリハビリテーション・医療福祉の活用について市民や専門家に普及啓発するためのイベントや研修会を開催する。内容は、3Dプリンターや傾きセンサー技術などを活用したリハビリテーションや医療に役立つ道具の開発や、道具の提供のためのサービス、その普及に関するもの。テーマの例としては、市民公開講座として「3D プリントがもたらす福祉の未来」、専門家向け研修会として「ICT を活用した最新リハビリ技術」など。また COCRE HUB（ウェブサイト上の情報共有プラットフォーム）を通じたオンラインでの学習コンテンツの提供を行う。	成立の日～令和7年12月31日まで 市民向けイベント：年4回（3月、6月、9月、12月を予定） 専門家向け研修会：年1回（月程度）	品川区内の貸会議室、この法人の主たる事務所、インターネット上	10人	東京都を中心とする市民一般及び医療福祉従事者	市民公開講座 毎回100名程度 専門家向け研修会 毎回30名程度	1,660
ICTとリハビリテーション・医療福祉の用具等の作成に関する認定講座事業	3D プリンターを用いた自助具や医療福祉用具の作成技術を普及し、資格認定を通じて専門人材を育成する。インターネット上で受講生を募集し、オンデマンドで受講できる仕組みとする。受講対象者は医療福祉従事者、デザイナーやエンジニア、ケア従事者、この分野に興味関心を有する一般の方。養成講座として、初級：Tinkercad（ソフトウェア）を用いた簡単な3Dモデルの設計 中級：災害時に必要な道具の設計と応用 上級：医療福祉現場での活	成立の日～令和7年12月31日まで 初級：年6回（奇数月） 中級：年2回（春・秋） オンデマンド講座は通年	この法人の主たる事務所、インターネット上	10人	医療福祉従事者、デザイナーやエンジニア、ケア従事者、この分野に興味関心を有する一般の方	初級・中級講座：一般医療福祉従事者、各回30名程度 上級講座：医療福祉に従事する有資格者、各回15名程度	830

	用を目的としたプロフェッショナル講座 などを実施し、資格認定を行う。						
ICTとリハビリテーション・医療福祉に関する用具、製品の企画開発事業	<p>ICT技術を活用し、障がい者や高齢者が日常生活をより快適にするための福祉用具や製品を企画・開発する。</p> <p>日用品（例：箸）や福祉用具（例：車椅子）が、より細やかに個々の障害特性などに合わせて利用しやすくなるような3Dプリントで作成した拡張パーツを、福祉機器メーカーや大学等の研究機関からと共に企画開発し、その普及を図る。拡張パーツの製作に必要な3Dプリンターのデータは、インターネット上で基本的に無償で公開する。</p> <p>デザインコンテストを通じて優秀な3Dモデルの選考を行い、COCRE HUB（ウェブサイト上の情報共有プラットフォーム）を通じて広く一般に情報提供を行う。</p> <p>個別の企業や団体からの依頼により、用具、製品の開発に関するアドバイス業務も行う。</p>	<p>成立の日～令和7年12月31日まで企画開発：通年 デザインコンテスト：年1回（8月～10月）</p>	この法人の主要な業務及びインターネット上	10人	医療福祉従事者	開発プロジェクト：専門家チーム10名程度 プロジェクトコスト応募者：50～100名/回	415
ICTを活用した災害時支援の研究開発及び普及事業	<p>災害時に迅速かつ適切に対応できるリハビリテーション支援体制やICTツールの開発を行う。内容は、高齢者や障害者の防災や減災、障害のある被災者の生活自立度の低下の防止に役立つ3Dプリンターで製作する自助具や、傾きセンサーと組み合わせた道具を開発する。</p> <p>COCRE HUB（ウェブサイト上の情報共有プラットフォーム）を通じて広く一般に情報提供を行う。</p> <p>また各地域での災害時にリハビリテーションを継続するための支援体制を研究するワークショップを実施する。</p>	<p>成立の日～令和7年12月31日まで研究開発：通年 ワークショップ：年2回（5月、11月）</p>	この法人の主要な業務及びインターネット上	10人	医療福祉従事者及び市民一般	研究開発チーム：医療従事者、技術者、行政関係者など20名 ワークショップ参加者：医療福祉従事者、地域住民、各回30名	415

令和8年度

事業計画書

特定非営利活動法人ICTリハビリテーション研究会

1 事業実施の方針

2年目は、事業規模及びこの法人の役員を通じた呼びかけにより利用者の規模を2倍程度まで拡大する。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

（事業費の総費用【 9,300 】千円）

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
ICTとリハビリテーション・医療福祉に関するイベント、研修会及び情報提供事業	ICT とリハビリテーション・医療福祉の活用について市民や専門家に普及啓発するためのイベントや研修会を開催する。内容は、3Dプリンターや傾きセンサー技術などを活用したリハビリテーションや医療に役立つ道具の開発や、道具の提供のためのサービス、その普及に関するもの。 テーマの例としては、市民公開講座として「3Dプリンターがもたらす福祉の未来」、専門家向け研修会として「ICTを活用した最新リハビリ技術」など。 また COCRE HUB（ウェブサイト上の情報共有プラットフォーム）を通じたオンラインでの学習コンテンツの提供を行う。	令和8年1月1日～令和8年12月31日まで 市民向けイベント：年4回（3月、6月、9月、12月を予定） 専門家向け研修会：通年（月1回程度）	品川区内の貸会議室、この法人の主たる事務所、インターネット上	10人	東京都を中心とする市民一般及び医療福祉従事者	市民公開講座 毎回100名程度 専門家向け研修会 毎回30名程度	4,650
ICTとリハビリテーション・医療福祉の用具等の作成に関する認定講座事業	3Dプリンターを用いた自助具や医療福祉用具の作成技術を普及し、資格認定を通じて専門人材を育成する。インターネット上で受講生を募集し、オンデマンドで受講できる仕組みとする。受講対象者は医療福祉従事者、デザイナーやエンジニア、ケア従事者、この分野に興味関心を有する一般の方。 養成講座として、初級：Tinkercad（ソフトウェア）を用いた簡単な3Dモデルの設計 中級：災害時に必要な道具の設計と応用 上級：医療福祉現場での活	令和8年1月1日～令和8年12月31日まで 初級：年6回（奇数月） 中級・上級：年2回（春・秋） オンデマンド講座は通年	この法人の主たる事務所、インターネット上	10人	医療福祉従事者、デザイナーやエンジニア、ケア従事者、この分野に興味関心を有する一般の方	初級・中級講座：一般医療福祉従事者、各回30名程度 上級講座：医療福祉に従事する資格者、各回15名程度	2,325

	用を目的としたプロフェッショナル講座 などを実施し、資格認定を行う。						
ICTとリハビリテーション・医療福祉に関する用具、製品の企画開発事業	ICT技術を活用し、障がい者や高齢者が日常生活をより快適にするための福祉用具や製品を企画・開発する。 日用品（例：箸）や福祉用具（例：車椅子）が、より細やかに個々の障害特性などに合わせて利用しやすくなるような3Dプリントで作成した拡張パーツを、福祉機器メーカーや大学等の研究機関からと共に企画開発し、その普及を図る。拡張パーツの製作に必要な3Dプリンターのデータは、インターネット上で基本的に無償で公開する。 デザインコンテストを通じて優秀な3Dモデルの選考を行い、COCRE HUB（ウェブサイト上の情報共有プラットフォーム）を通じて広く一般に情報提供を行う。 個別の企業や団体からの依頼により、用具、製品の開発に関するアドバイス業務も行う。	令和8年1月1日～令和8年12月31日まで 企画開発：通年 デザインコンテスト：年1回（8月～10月）	この法人の主要業務及びインターネット上	10人	医療福祉従事者 福祉従事者	開発プロジェクト：専門家チーム10名程度 プロジェクトコスト応募者：50～100名／回	1,162
ICTを活用した災害時支援の研究開発及び普及事業	災害時に迅速かつ適切に対応できるリハビリテーション支援体制やICTツールの開発を行う。内容は、高齢者や障害者の防災や減災、障害のある被災者の生活自立度の低下の防止に役立つ3Dプリンターで製作する自助具や、傾きセンサーと組み合わせた道具を開発する。COCRE HUB（ウェブサイト上の情報共有プラットフォーム）を通じて広く一般に情報提供を行う。 また各地域での災害時にリハビリテーションを継続するための支援体制を研究するワークショップを実施する。	令和8年1月1日～令和8年12月31日まで 研究開発：通年 ワークショップ：年2回（5月、11月）	この法人の主要業務及びインターネット上	10人	医療福祉従事者 福祉従事者 一般市民	研究開発チーム：医療従事者、技術者、行政関係者など20名 ワークショップ参加者：医療福祉従事者、地域住民、各回30名	1,162

令和7年度 活動予算書（その他事業がない場合）

特定非営利活動法人ICTリハビリテーション研究会

(単位：円)

科 目		金 額	小計・合計
(A) 経常収益			
1 受取会費			300,000
正会員受取会費	150,000		
一般会員受取会費	50,000		
賛助会員受取会費	100,000		
2 受取寄附金		2,000,000	2,000,000
受取寄附金			
施設等受入評価益			
3 受取助成金等		1,000,000	1,000,000
受取補助金			
4 事業収益			3,700,000
ICTとリハビリテーション・医療福祉に関するイベント、研修会及び情報提供事業	2,000,000		
ICTとリハビリテーション・医療福祉の用具等の作成 に関する認定講座事業	1,200,000		
ICTとリハビリテーション・医療福祉に関する用具、製品の企画開発事業	500,000		
ICTを活用した災害時支援の研究開発及び普及事業	0		
5 その他の収益		0	0
受取利息			
経常収益計			7,000,000
(B) 経常費用			
1 事業費			100,000
(1) 人件費		100,000	
給料手当			
役員報酬			
退職給付費用			
福利厚生費			
(2) その他経費			3,220,000
業務委託費	2,000,000		
消耗品費	800,000		
印刷製本費	120,000		
運送費	200,000		
旅費交通費	100,000		
事業費計			3,320,000
2 管理費			0
(1) 人件費			
役員報酬			
給料手当			
退職給付費用			
福利厚生費			
(2) その他経費			3,300,000
地代家賃	2,000,000		
水道光熱費	500,000		
通信運搬費	500,000		
支払手数料	300,000		
管理費計			3,300,000
経常費用計			6,620,000
当期経常増減額 (A) - (B) . . . ①			380,000
(C) 経常外収益			
固定資産売却益	0		
過年度損益修正益	0		
経常外収益計			0
(D) 経常外費用			
固定資産売却損	0		
災害損失	0		
過年度損益修正損	0		
経常外費用計			0
当期経常外増減額 (C) - (D) . . . ②			0
税引前当期正味財産増減額 ①+② . . . ③			380,000
法人税、住民税及び事業税 . . . ④			70,000
設立時正味財産額 . . . ⑤			0
次期繰越正味財産額 ③-④+⑤			310,000

令和8年度 活動予算書（その他事業がない場合）

特定非営利活動法人ICTリハビリテーション研究会

(単位：円)

科 目		金 額	小計・合計
【A】 経 常 収 益			
1 受取会費			260,000
正会員受取会費	100,000		
一般会員受取会費	50,000		
賛助会員受取会費	110,000		
2 受取寄附金		5,000,000	5,000,000
受取寄附金			
施設等受入評価益			
3 受取助成金等		2,000,000	2,000,000
受取補助金			
4 事業収益			8,000,000
ICTとリハビリテーション・医療福祉に関するイベント、研修会及び情報提供事業	4,000,000		
ICTとリハビリテーション・医療福祉の用具等の作成 に関する認定講座事業	3,200,000		
ICTとリハビリテーション・医療福祉に関する用具、製品の企画開発事業	800,000		
ICTを活用した災害時支援の研究開発及び普及事業	0		
5 その他の収益		0	0
受取利息			
経 常 収 益 計			15,260,000
【B】 経 常 費 用			
1 事業費			600,000
(1) 人件費		600,000	
給料手当			
役員報酬			
退職給付費用			
福利厚生費			
旅費交通費			
(2) その他経費			8,700,000
業務委託費	6,000,000		
消耗品費	1,600,000		
印刷製本費	300,000		
運送費	500,000		
旅費交通費	300,000		
事業費計			9,300,000
2 管理費			960,000
(1) 人件費		960,000	
役員報酬			
給料手当			
退職給付費用			
福利厚生費			
(2) その他経費			4,650,000
地代家賃	2,000,000		
水道光熱費	1,000,000		
通信運搬費	1,000,000		
支払手数料	650,000		
管理費計			5,610,000
経 常 費 用 計			14,910,000
当期経常増減額 【A】－【B】・・・①			350,000
【C】 経 常 外 収 益			
固定資産売却益	0		
過年度損益修正益	0		
経 常 外 収 益 計			0
【D】 経 常 外 費 用			
固定資産売却損	0		
災害損失	0		
過年度損益修正損	0		
経 常 外 費 用 計			0
当期経常外増減額 【C】－【D】・・・②			0
税引前当期正味財産増減額 ①+②・・・③			350,000
法人税、住民税及び事業税・・・④			70,000
前期繰越正味財産額・・・⑤			310,000
次期繰越正味財産額 ③－④+⑤			590,000